

女川町 支援活動レポート

2016.8.5～2015.8.7 2016.8.26～2015.8.28

(東京都港区 白金/四の橋商店街納涼まつり
および 麻布十番商店街納涼まつり)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成28年9月15日(木)

東北応援団 白金支部

女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。
また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

1. はじめに

昨年3月のJR女川駅の開通に続き、12月には駅前プロムナード「シーパルピア」がオープンしました、女川町の賑わいの拠点として町内外からたくさんの方々が集えるようにと、日用品を販売するお店から観光客が立ち寄れるお店などが次々にオープンしています。人が集える場所がある、出会う場所があることは、町に笑顔を取り戻す大事なきっかけとなっていることと思います。

外から人を迎える用意が整ってきた女川にたくさんの方に足を運んでいただきたい、女川の美味しいもの、美しい風景、そして、温かい女川人に、女川で出会っていただきたい。そんな思いを新たに、今年も夏の催事で女川町のPR活動をさせていただきました。

2. 活動報告

(1)概要

- a) 白金/四の橋商店街 納涼祭2016
(日 時) 2016年8月 6日(土) 15:00~21:00
2016年8月 7日(日) 15:00~21:00
(会 場) 港区白金/四の橋商店街

- b) 麻布十番商店街 納涼祭2016
(日 時) 2016年8月27日(土) 15:00~21:00
2016年8月28日(日) 15:00~21:00
(会 場) 港区麻布十番商店街

(2)出店目的

女川町PRとして、多くの方に宮城県女川町の名産品を食べていただくことで、女川町を認知いただく。

(3)出店の構成

- a) 白金/四の橋商店街 納涼祭2016
 - ◆さんま炭火焼き : 販売目標 各日 330尾 計 660尾
 - ◆ホタテ炭火焼 : 販売目標 各日 280枚 計 560枚
 - ◆生ビール : 販売目標 各日 90杯 計 180杯
 - ◆おかせい水産加工品
 - ◆「マルキチ阿部商店」三陸えびポテト・リアスの詩、他

- b) 麻布十番商店街 納涼祭2016
 - ◆南三陸 女川産 ブランドホタテ焼き : 販売目標 800枚/500枚 計 1500枚
 - ◆女川産 天然物 高級 あなご串 : 販売目標 300本/200本 計 500本
 - ◆女川ホップペールビール : 販売目標 各日 150杯 計 300杯
 - ◆おかせい水産加工品
 - ◆「マルキチ阿部商店」三陸えびポテト・リアスの詩、他
 - ◆「蒲鉾本舗 高政」蒲鉾各種

(4)活動レポート

a) 白金/四の橋商店街 納涼祭2016

7月上旬から中旬

白金/四の橋商店街納涼祭りのスタッフ募集を開始しました。今年も商店街の皆様と一緒に、前夜の設営からお手伝いをさせていただきます。

「マルキチ阿部商店」さんから、催事出店用の新アイテムを、今回のお祭りで販売されたいとお話をいただきました。

新アイテムはイサダを練りこんだフライドポテト、「三陸えびポテト」です！ 白金支部では、女川町のたくさんの美味しいものを皆さんに知っていただけるよう、新たな物産品の販売の取り扱いを始めることになりました。商品は魚の目利きの店、「岡清」さんの水産加工品に決定、実演販売のさんま炭火焼、ホタテの炭火焼の販売数も決まり、白金支部のWEBサイトで告知を開始しました。

8月5日(金) 白金/四の橋商店街納涼まつり 前日準備

ブースのレイアウトや参加スタッフの役割分担、当日の流れやポップの作成などの準備が整い、前日の商店街全体の設営の日を迎えました。

この日は、午後から必要な道具を各所より集めます。私どもの活動にご理解をいただいております、白金の橋本様のご好意で、建物の駐車場の一部に道具類を置かせていただきました。

そして夜からは、続々と集まったスタッフと一緒に、シャッターのしまった商店街でお祭りの準備をお手伝いさせていただきました。



ブースは例年と同じ場所です！

8月6日(土) 白金/四の橋商店街納涼まつり 1日目

「白金/四の橋商店街納涼まつり」1日目です！ お昼過ぎから集まったスタッフと、ブースの設営を行いお客様を迎えます。

今年は年明けより横浜市場の支援グループ「愛と勇気とさんま実行委員会」の皆様にも、秋刀魚焼きのご指導をいただきました。炭や秋刀魚の扱いが上達したスタッフたちが、美味しく秋刀魚を焼いていきます。そして、人気の殻ごと焼くホタテも、焼台の上に豪快に並べられていき、行きかう方々の目を引きまします。

「マルキチ阿部商店」さんの新アイテムの「三陸えびポテト」は、途中で目立つポップを追加、試食を出して召し上がっていただくと、購入いただける方も増えてきました。なが〜く揚がったポテトは見た目にもインパクトがあり、歩きながら食べている人を見て、販売ブースを探しに来てくださる方もいらっしゃいました。

一日目は無事に完売、早々に片付けを行い、女川町よりおこしいただいた「マルキチ阿部商店」の阿部淳さんを囲んで、懇親会を行いました。そして、これからの女川町のこと、これからも女川を応援して行きたい私たちが、どう係わらせていただくのが女川町の発展の後押しとなるのか、時間の許す限りお話をうかがわせていただきました。

8月7日(日) 白金/四の橋商店街納涼まつり 2日目

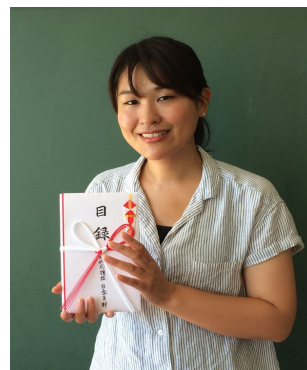
二日目です。一日目は数量が出なかった、物産販売に力を入れて宣伝します。ピーク時には秋刀魚、ホタテの焼き上り待ちで並んでいるお客様にむけて、試食をお勧めしたり、商品を手にとらせていただきました。前日順調に販売した「三陸えびポテト」は、この日もコンスタントに注文をいただき、早めの時間に材料がなくなり、販売終了となりました。そして、秋刀魚、ホタテの炭火焼もお祭りの終了時間を待たずして完売となりました。参加スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

「白金/四の橋商店街納涼まつり2016」の白金支部の収益金は、「226,161円」となりました。この収益金は全額「女川向学館」(*)に全額寄付をさせていただきました。

9月10日(土)に寄付金の目録をお届けさせていただきました。

(※) 女川向学館

女川向学館とは、NPO法人カタリバが、女川町で被災し仮設住宅での暮らしを余儀なくされた子供達に、放課後の居場所づくり、また、勉強を通して将来への希望を持ってほしい、との思いから設立された学習塾です。



女川向学館の職員の川井さん



白金/四の橋商店街納涼まつり2016

b) 麻布十番商店街 納涼祭2016

8月27日(土) 麻布十番商店街納涼まつり 1日目

「白金/四の橋商店街納涼まつり」から3週間、「麻布十番商店街納涼まつり」の本番の日を迎えました。今年は規定で炭火が使えないこととなり、直前まで販売品の変更をしたり、天候が心配されたため、数量の決定をぎりぎりまで延ばしたりと、最後まで調整に気が抜けませんでした。

炭火でアピールできなくても、女川には美味しい食材がたくさんあります。そこで、「女川産ブランド」として、ホタテやあなごをご紹介させていただきました。ホタテは殻ごと鉄板で焼き、「南三陸 女川産 ブランドホタテ焼き」としてアピールします。前日から仕込みを行った女川の天然あなごは、アラから出汁をとってタレをつくり、「女川産 天然物 高級 あなご串」と商品名をつけて販売しました。もちろん、「白金/四の橋商店街納涼まつり」でデビューしました、「マルキチ阿部商店」さんのえびの香りがするフライドポテトは「三陸ロングえびポテト」の商品名で新しいポップも作成しました。

14時の通行止めの時間となりスタッフも集合、さあ、設営の開始となったところで、雨です。かなり強い雨でしたが、準備を進められるところだけ、始めていきます。物販ブースでは、今年も「蒲鉾本舗 高政」さんが蒲鉾の販売準備を進めながら、商品が濡れない様に、ビニールをかけたたりなど、対応に追われましたが、なんとか販売開始の時間を迎えました。

今年も女川町のビアバー「ガル屋」さんの地ビール、「女川ホップペール」を販売しました。商品のPRとして、「河北新報社」さんの復興支援事業「今できることプロジェクト」で製作されました「女川ポスター展全集」から、「ガル屋」さんのポスターをパネルで展示させていただきました。(※注1)

ようやく雨も小降りとなってきたのは、開始時間より1時間ほど経った頃でした。「三陸ロングえびポテト」のフライヤーにも火を入れて、販売開始です。雨がぱらつく状況が続きましたが、次第に来場客も増え、お祭りらしい雰囲気になってきました。鉄板には、ホタテがずらっと並べられ、お酒、醤油で焼いていきます。あなご串は、香ばしい匂いに誘われて、多くの方にご購入いただきました。ホタテの焼き上がりを待つ間について…というお客さまもたくさんいらっしゃいました。

出だしの雨で、販売が遅くなったこともあり、この日は終了ぎりぎりまで販売を続け、なんとか、実演販売品は完売、終了となりました。

※注1 「女川ポスター展全集」より、利用させていただきましたポスターは、河北新報社さん、「ガル屋」さんに、今回の催事に限り、利用の許可をいただきました。



三陸、女川の文字を多用してアピールしました

一日目終了後は、女川町よりいらしていただきました、「蒲鉾本舗 高政」の高橋正樹さん、「マルキチ阿部商店」の阿部淳さんを交えて、懇親会を行いました。久しぶりに活動に参加して下さったメンバーや、始参加の方々も交え、遅くまでお話をさせていただきました。

8月28日(日) 麻布十番商店街納涼まつり 2日目

二日目です。この日も生憎の空模様、雨は降ったりやんだりといった状況が続くようです。前日に雨に濡れてしまったポップなどを差し替え、慌しく準備を進めました。15時、販売開始。前日よりは弱い雨で、人通りも多いようです。

物販ブースでは、前日同様、浴衣姿で参加して下さったスタッフが接客です。物産品の説明をさせていただきながら、「女川」をキーワードにお客さまと積極的にコミュニケーションをとります。

実演販売エリアでは、焼き上がり待ちのお客さまの列が絶えず、列を折り返してお並びいただきました。お待ちのお客さまには、東京ではめったに飲めない「女川ホップペールビール」を、お勧めします。一般の地ビールより癖がなく、フルーティで飲みやすいこのビール、味わった方が「美味しいよ!」と、声をかけてくださいました!



物販ブースでは浴衣ガールズが接客です

琥珀色の女川ホップペールビール

あなご串は早々に完売、帆立も「わあ! 大きい!」と、道行く方が立ち止まって記念撮影。購入いただく方が後を絶たず、8時前に実演販売品は完売となりました。続いて最後の笹かまぼこが売れて終了となったところで、待っていたかのような強い雨、生憎の2日間のお天気でしたが、なんとか、無事に終了いたしました。高橋正樹さん、阿部淳さんの音頭で手締めを行い、解散となりました。



麻布十番商店街納涼まつり2016

以上をもちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。

3. 活動を終えて

今年の夏の催事では、炭を使わない実演販売、初めての雨など、様々な新しい経験をさせていただきました。いろいろな意味での試練の活動となりましたが、女川町を応援する活動にご理解いただける皆様からの多岐にわたるご支援や、活動に参加していただくスタッフの皆様、志を同じく支援活動を共にして下さるたくさんの皆様に支えていただきました。本当にありがとうございました。女川町の魅力を感じ、応援したいと集まる方々だからこそそのチームワークだったと思います。

たくさんの方々の耳に心に「女川」の名が残るよう、そしていつかまた、「女川」にふれる機会があったときに、あの「女川」ねと思い出していただき、興味をもっていただけるよう、これからも微力ながらPRを続けていきたいと思っております。

今回も「女川町観光協会」様を始め、「蒲鉾本舗 高政」様、「マルキチ阿部商店」様に出演のご協力をいただきました。そして、「愛と勇気とさんま実行委員会」の皆様のお力添え、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

そして、ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

4. 今後の活動

◆みなと区民まつり 2016

【日程】 10月8日(土) 11:00～17:00

10月9日(日) 10:00～16:00

【場所】 港区芝公園1丁目5番25号付近
ふるさと物産展(港区役所エリア)

都営三田線 御成門駅 A2出口 芝公園駅 A5出口

都営浅草線 都営大江戸線 大門駅 A6出口

【活動内容】

今年も女川町観光協会さんとコラボで出店させていただきます。出店のテーマは「女川市場食堂」です。女川のソウルフード、さんますり身汁「女川汁」をはじめ、昨年販売して大好評でした「小女子のたきこみご飯」、夏祭りの好評メニューからは「あなご串」など、

女川の海の幸をたくさんお届けします。そして、女川駅前プロムナードのCafé&Bar「OWL」より、女川町の新名物となりつつある、「ホヤきそば」の販売が決定しました！新鮮なホヤをつかった焼きそばは、ガーリックと胡椒がきいた、海の香りがする焼きそばです。

もちろん物産販売エリアでは、女川町の蒲鉾の名店「蒲鉾本舗 高政」さんの絶品蒲鉾各種を販売、季節限定のぶちあげ蒲鉾もお買い求めいただけます。そして「マルキチ阿部商店」さんからは、昆布巻き的高峰「リアスの詩」や、他とは旨みがちがう絶品小女子、三陸産塩蔵わかめなど、他多数の物産販売をいたします。他にも区民まつりでは初めての販売アイテムが続々です！

皆様のお越しをお待ちしております。

5. 補足事項

(1) 参加者 (敬称略/順不同)

a) 白金/四の橋商店街 納涼祭2016

安部 由美	後藤 奈津子	瓜田 創	蜜口 真人
野口 砂絵子	田中 智子	末石 義史	五十畑 昌寛
楠 貴裕	林 郁美	宮野 貴	古家 正暢
北村 悠馬	亀田 凌	稲吉 華那	矢本 貴俊
宮澤 ともやす	岩田 亮	越智 つぐみ	平林 春樹
岩立 文香	木沢 麻由子	三上 加寿子	大島 浩一
三谷 嗣郎	小幡 真里	藤原 朗	川端 陽子
工藤 史大			

a) 麻布十番商店街 納涼祭2016

後藤 奈津子	野口 砂絵子	瓜田 創	蜜口 真人
伊藤 貴志	長南 美樹	大星 直樹	古家 正暢
稲吉 華那	末石 義史	平林 真百合	林 麻衣子
楠 貴裕	亀田 凌	岩立 文香	平林 春樹
木沢 麻由子	田中 智子	太田 洋子	三谷 嗣郎
三木 辰浩	岡本 浩二	山田 千尋	工藤 明恵
鈴木 出帆	府川 めぐみ	伊集院 熙	三上 加寿子
川端 陽子	工藤 史大		

(2) 後方支援者 (敬称略/順不同)

(故)橋本 翔二	橋本 直	橋本 渉	石川 重美
石川 篤史	川口 隆	小澤 徹	小澤 雅志
加藤 豊	若本 智子	藤川 芳恵	

(3) 支援物資提供 (敬称略/順不同)

大門ホルモン焼 夏冬

(5) 協力 (敬称略/順不同)

女川町観光協会	蒲鉾本舗 高政	マルキチ阿部商店	あがいんステーション
河北新報社	愛と勇気とさんま実行委員会		

(9) 主催元

港区 白金/四の橋商店街 (白金/四の橋商店街納涼まつり)

港区 麻布十番商店街 (麻布十番商店街納涼まつり)

弊会の活動は、皆様のご理解、ご協力のうえで、成り立っております。

本当にありがとうございました。

私たちは、これからも女川町を継続して応援させていただきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成28年9月15日
東北応援団 白金支部
工藤 史大

★東北応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.